

《 ミニプロフィール 》

昭和34年、小さな写真屋に生まれる。
大学時代は、ハンドボール部のキャプテンとして活躍。
零細企業に育ったこともあり、中小企業を担当する通商産業省に入省。
日米交渉や道路公団民営化、地方行政(埼玉県副知事に outward)などに携わる。
平成18年衆議院千葉七区補欠選挙にて公募により選ばれるも、惜敗。
平成21年衆議院総選挙において、初当選。4期目。環境大臣政務官、
党副幹事長、党農林部会長、農林水産副大臣、農林水産大臣を経て、
現在、衆議院予算委員会理事としてコロナ対策などの予算成立に奮闘中。
[趣味] ハンドボール、カラオケ、読書、映画
[好きな食べ物] ラーメン、焼肉(特にカルビとハラミ)
[尊敬する人物] 高杉晋作、原敬、鈴木貫太郎

やっぱり
この界だ



号外
令和3年9月10日発行

「この感染対策を」

感染対策の提言1

今号では、さいとう健が考えるコロナ対策について、一部ではありますがご紹介します。実現の難しいものもありますが、今は有事との発想で前に進めていくべきです。

1. 野戦病院の設立

今、コロナ対策で最も大事な対策は何でしょうか。さいとう健は14万人以上いる自宅療養者を一人でも減らすことだと思えます。自宅療養の方は、いつ容態が悪化するかの恐怖におびえ、そのとき救急車が来てくれるのかと不安の極致にいます。また、家族に移してしまうのではないかと。

これらの方々を自宅から切り離し、常時医療チェックしてもらえる野戦病院を何としてもつくりたい。米国のニューヨーク州では約1000床の臨時病院があります。英国ロンドンにも約4000床のナイチンゲール病院がつけられました。なのに、何故、同じ首都の東京ではできないのか。

問題は、医師と看護師がいないということですが、それこそ平時の発想です。全国には1学年1万人といわれる医学生がいます。看護学部の学生は6万人です。これら学生に1ヶ月ほどコロナ対策の研修を行えば、野戦病院で患者さんたちを見守り、応急措置をすることぐらいできるのではないのでしょうか。患者さんたちからみれば、自宅にいるより、よっぽど安心です。

学生の勉強が遅れるということもありますが、それでも自分はやるという志の高い学生もいるはずで、今は有事、こういう野戦病院を是非つくりたい。



予算委員会理事としてコロナ関連予算の成立と、ワクチン接種を含めた医療体制の確保に尽力。



公明党角田秀穂さんと連携を取り、コロナ禍の支援策を打ち出しています。

感染対策の提言2

2. コロナ専門病院への移行（感染症法の改正）

病院等がコロナ患者さんを受け入れない理由の一つが、一般の患者さんがいるということです。なので、一般の患者さんを他の病院に移し、コロナ専門に受け入れるようにすれば、一気に効率が高まります。この手のことは、政府がいくら要請しても病院に任せていたのでは進みません。

この際、有事の発想に立ち、感染症法を改正して、コロナ病床転換を国が指示できるようにすべきと考えます。

3. 保健所への支援

コロナ対応の中核である保健所に人材が不足していますので、入院調整や疫学調査を民間などへ委託したらどうか。

4. 全ての入国者に10日間の待機を（水際対策の強化）

現在は全ての入国者に出国前72時間以内の検査証明書を提出させた上で、出発国の感染状況に応じて、国ごとに10日間、6日間、3日間の待機を求めています。今は災害級の感染状況であり、さらなる変異株の流入を阻止するためにも、検査証明書を持っている方も、当面の間、全ての入国者に10日間の待機を求めたい。

5. 治療薬の円滑な投与とワクチン開発製造

まず抗体カクテル療法が必要な患者に全て供給できるように十分な量を確保し、デキサメタゾン等の経口ステロイド薬を自宅療養者にも円滑に投与できるようにしたい。

また、予期せぬ感染症に対するワクチンや治療薬を国内で開発・生産できるように、最大限の予算措置を講じるとともに、米国の「緊急使用許可制度」を参考にしたワクチンや治療薬の早期の実用化の仕組みもつくりたい。

6. アフターワクチンのロードマップの明示

ワクチンの2回接種によってデルタ株でも重症化防止効果は高いことが分かっており、希望する方全員の接種が終了に向かえば、緊急事態宣言区域などでの飲食店の酒類提供停止やイベントの人数制限、旅行や帰省の自粛などを緩和できる環境が見えてきます。この具体的なスケジュールを明示し、苦しい中でも展望を示したい。



コロナ禍で厳しい状況が続く中小企業の現場を視察し、必要な支援をヒアリング。



コロナ関連の法案も多く審議される中、議員立法の草案責任者として国会答弁。

メルマガ **さいとう健**

名前・住所の登録不要。

月刊さいとう健では伝えきれない内容満載。

返信すれば匿名で意見を伝えられます。

<http://www.saito-ken.jp/info/melmaga.html>



討議資料

～ 後援会入会はコチラまで ～

さいとう健 後援会事務所（流山おおたかの森駅 北口すぐ）

〒270-0119 流山市おおたかの森北1-5-2セレーナおおたかの森2階

TEL: 04-7190-5271 FAX: 04-7190-5272 E-mail: info@saito-ken.jp

さいとう健 国会事務所

〒100-8981 千代田区永田町2-2-1衆議院第一議員会館822号室

TEL: 03-3508-7221 FAX: 03-3508-3221